

2

原田さんと野口さんは、校外学習で動物園に行き、ゾウの鼻について下のような【疑問】をもちました。そこで二人は、それぞれの疑問を解決するために、次の【科学読み物】を読みました。

【科学読み物】の下の【原田さんのふせん】、「野口さんのふせん」は、分かったことや新たな疑問を書いたものです。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

※【科学読み物】の中の印についての説明

―部：分かったこと

〰部：新たな疑問に関係する部分

【科学読み物】

鼻にとくちようがある動物というど、みなさんはどのような動物を思いうかべますか。きっとゾウを思いうかべる人が多いことでしょう。ゾウといえば、長い鼻がとくちようの一つです。では、ゾウの鼻はどうして長いのでしょうか。
大昔のゾウの体は、今のゾウの体よりもずっと小さかったといわれています。鼻も今より短かったのですが、長い年月の間に体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようです。それとともに、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったと考えられています。
ゾウは、長い鼻を使っていろいろなことができます。

【疑問】

【原田さんの疑問】

A

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。

野口さん 原田さん

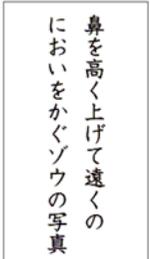
※「ふせん」：分かったことや疑問などを書いて、本や文章に目印として付ける紙。

【原田さんのふせん】

- ①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。
- ②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。
- ③長い鼻を使うことで、できること。(食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)
- ④鼻の短い動物の鼻の役割は？
・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【野口さんのふせん】

- ①長いからといって、においを感じ取ることはできないわけではない。
- ②二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれている。
- ③すぐれた鼻を使うことで、
- ④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？
・イヌは、どれくらい先のおいを感じ取るのか。



▲高く鼻を上げて遠くのにおいをかぐゾウ

例えば、食べ物をつかんで口に運んだり、水をすいあげて飲んだりすることができます。また、すいあげた水をシャワーのようにして浴びたり、鼻をからませ合せてあいさつをしたりすることもできます。このように、ゾウの長い鼻は、生活する上でさまざまなことに役立つのです。

ゾウの鼻は、ほかの動物たちと同じように、においを感じ取ることもできます。長いからといって、においを感じ取ることはできないわけではないのです。むしろ、においを感知することについては、むしろ、においを二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれています。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。

ゾウのほかにも、においを感じ取ることにすぐれた動物はたくさんいます。

〽 (内容が続く) 〽

※ 問題は、次のページに続きます。

二 原田さんと野口さんは、書いたふせんを整理しながら【疑問】に対するまとめを書いていきます。
 【野口さんのまとめ】の **B** の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、【原田さんのまとめ】の書き方を参考にし、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【野口さんのふせん】③と④の両方の内容を使って書くこと。
- 【野口さんのふせん】③の内容については、【科学読み物】の 部の二文を一文にして書くこと。また、④の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

【原田さんの疑問】



【分かったこと】

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

③長い鼻を使うことで、できること。
 (食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

【新たな疑問】

④鼻の短い動物の鼻の役割は？
 ・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【原田さんのまとめ】

ぼくが、疑問に思った「**A**」ということについて、次のことが分かった。
 大昔のゾウの鼻は、今のゾウの鼻よりも短かったが、体が大型化し、口が地面からはなれていったようだ。そして、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようである。長い鼻を使うことで、食べ物をつかんだり、水をすいあげて飲んだりすることができる。また、水浴びや、あいさつをすることもできる。調べていくうちに新たな疑問も出た。鼻の短い動物の鼻の役割は何かということだ。例えば、カバやブタは、鼻を使って何ができるのか調べたい。

【野口さんの疑問】



【分かったこと】

①長いからといって、においを感じ取ることができないわけではない。

②二、三キロメートル先においをかぎ分けるともいわれている。

③すぐれた鼻を使うことで、

【新たな疑問】

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？
 ・イヌは、どれくらい先においを感じ取るのか。

【野口さんのまとめ】

わたしが、疑問に思った「ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。」ということについて、次のことが分かった。
 ゾウの鼻は、長いからといって、においを感じ取ることができないわけではない。二、三キロメートル先においをかぎ分けるともいわれている。すぐれた鼻を使うことで、

B

※ 解答は、解答らんりに書きましよう。

2

原田さんと野口さんは、校外学習で動物園に行き、ゾウの鼻について下のような【疑問】をもちました。そこで二人は、それぞれの疑問を解決するために、次の【科学読み物】を読みました。

【科学読み物】の下の【原田さんのふせん】、【野口さんのふせん】は、分かったことや新たな疑問を書いたものです。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

※【科学読み物】の中の印についての説明

―部：分かったこと

〰部：新たな疑問に関係する部分

【科学読み物】

鼻にとくちようがある動物というど、みなさんはどのような動物を思いうかべますか。きつとゾウを思いうかべる人が多いことでしょう。ゾウといえば、長い鼻がとくちようの一つです。では、ゾウの鼻はどうして長いのでしょうか。
大昔のゾウの体は、今のゾウの体よりもずっと小さかったといわれています。鼻も今より短かったのですが、長い年月の間に体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようです。それとともに、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったと考えられています。
ゾウは、長い鼻を使っていろいろなことができます。

【疑問】

【原田さんの疑問】

A

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。

野口さん 原田さん

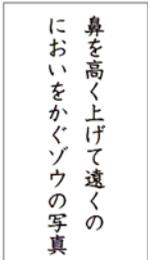
※「ふせん」…分かったことや疑問などを書いて、本や文章に目印として付ける紙。

【原田さんのふせん】

- ①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。
- ②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。
- ③長い鼻を使うことで、できること。(食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)
- ④鼻の短い動物の鼻の役割は？
・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【野口さんのふせん】

- ①長いからといって、においを感じ取ることはできないわけではない。
- ②二、三キロメートル先のにおいをかぎ分けるともいわれている。
- ③すぐれた鼻を使うことで、
- ④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？
・イヌは、どれくらい先のにおいを感じ取るのか。



▲高く鼻を上げて遠くのにおいをかぐゾウ

例えば、食べ物をつかんで口に運んだり、水をすいあげて飲んだりすることができます。また、すいあげた水をシャワーのようにして浴びたり、鼻をからませ合せてあいさつをしたりすることもできます。このように、ゾウの長い鼻は、生活する上でさまざまなことに役立つのです。

ゾウの鼻は、ほかの動物たちと同じように、においを感じ取ることもできます。長いからといって、においを感じ取ることはできないわけではないのです。むしろ、においを感知することについては、むしろ、においを二、三キロメートル先のにおいをかぎ分けるともいわれています。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。

ゾウのほかにも、においを感じ取ることにすぐれた動物はたくさんいます。

〽 (内容が続く) 〽

※問題は、次のページに続きます。

二 原田さんと野口さんは、書いたふせんを整理しながら【疑問】に対するまとめを書いていきます。
 【野口さんのまとめ】の **B** の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、【原田さんのまとめ】の書き方を参考にし、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【野口さんのふせん】③と④の両方の内容を使って書くこと。
- 【野口さんのふせん】③の内容については、【科学読み物】の 部 の二文を一文にして書くこと。また、④の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

【原田さんの疑問】



【分かったこと】

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

③長い鼻を使うことで、できること。
 (食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

【新たな疑問】

④鼻の短い動物の鼻の役割は？
 ・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【原田さんのまとめ】

ぼくが、疑問に思った「**A**」ということについて、次のことが分かった。
 大昔のゾウの鼻は、今のゾウの鼻よりも短かったが、体が大型化し、口が地面からはなれていったようだ。そして、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようである。長い鼻を使うことで、食べ物をつかんだり、水をすいあげて飲んだりすることができる。また、水浴びや、あいさつをすることもできる。調べていくうちに新たな疑問も出た。鼻の短い動物の鼻の役割は何かということだ。例えば、カバやブタは、鼻を使って何ができるのか調べたい。

【野口さんの疑問】



【分かったこと】

①長いからといって、においを感じ取るこ
 とができないわけではない。

②二、三キロメートル先においをかぎ分
 けるともいわれている。

③すぐれた鼻を使うことで、

【新たな疑問】

④においを感じ取ることにすぐれた動物は
 どのような動物か？
 ・イヌは、どれくらい先においを感じ取る
 のか。

【野口さんのまとめ】

わたしが、疑問に思った「ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。」ということについて、次のことが分かった。
 ゾウの鼻は、長いからといって、においを感じ取ることができないわけではない。二、三キロメートル先においをかぎ分けるともいわれている。すぐれた鼻を使うことで、

B

※ 解答は、解答らんりに書きましよう。

例

※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

			ニ		
く	な	を	調	が	す
ら	動	感	べ	す	ぐ
い	物	じ	て	こ	れ
先	か	取	い	と	た
の	と	る	く	や	鼻
に	い	こ	う	、	を
お	う	と	ち	仲	使
い	こ	に	に	間	う
を	と	す	新	を	こ
感	だ	ぐ	た	見	と
じ	。	れ	な	っ	で
取	例	た	ぎ	け	、◆
る	え	動	問	る	水
の	ば	物	も	こ	場
か	、	と	出	と	や
調	イ	は	た	も	食
べ	ヌ	ど	。	で	べ
た	は	の	に	き	物
い	ど	よ	お	る	を
。	れ	う	い	。	さ

120字 100字

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① ふせん③の内容について、 部の二文を一文にし、以下の内容を取り上げている。
 - a 水場や食べ物をさがすことができる。
 - *「水場」、「食べ物」のいずれか一方のみを取り上げているものも含む。
 - b 仲間を見つけることができる。
- ② ふせん④の内容について、「例えば」という言葉を使って書いている。
- ③ 書き出しの言葉に続けて、100字以上、120字以内で書いている。

